

<p>公教育の立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本国憲法 ○教育基本法・学校教育法等 ○学習指導案 ○県及び市の教育施策要綱等 ○飯塚市学校教育プラン 	<p>学校の教育目標</p> <p>自己・他者・社会と関わり、新たな価値や概念を創造することのできる生徒の育成</p>	<p>児童生徒、地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ姿勢と意識の格差・自尊心の低下 ○学力と体力の二極化 ○家庭の教育力の二極化
<p>目指す教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒理解のもと、良さを見つけ、磨き、伸ばせる教師 ○わかる授業改善に努め、常に自己研鑽に励み、成長を続ける教師 ○組織人として、生徒・家庭・地域から信頼される教師 	<p>目指す生徒像</p> <p>「最善を尽くし 自ら伸びよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己・他者を理解し、未来を生き抜くための知識・技能を身につけた生徒(知) ○自己の目標を達成するために見通しを持ち、その過程において適切な選択をすることのできる生徒 ○正解のない問いに対して、自己・他者と対話し、社会との関連を意識した解を導き出すことのできる生徒 ○心豊かであり、自己の夢の実現と社会に貢献するためにたゆまぬ努力ができる生徒 	<p>目指す学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○凡事を徹底することのできる学校 ○哲学的な学びから生徒を成長させる学校 ○地域と連携・協力し地域から応援される学校

<p>教育課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○哲学的思考を中心に据えたキャリア教育の推進 ○学びに向かい合い、考え議論する学習の充実 ○基本的生活習慣、学習習慣の定着
<p>重点目標</p> <p>哲学的思考を育むための教育課程の編成・実施</p>
<p>教育課程編成の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が哲学的思考を行う機会を学習過程の中に設定する。 ○哲学的思考の基盤となる知識・技能の効率的な習得と定着を図る。 ○生徒が「学ぶ価値」を見いだすことのできる振り返りの工夫を行う。
<p>学力向上プラン全体計画</p>
<p>教科で目指す学力</p> <p>〈総合的な学習の時間〉 教科・領域で育成した資質・能力を活用し、自己の考えと他者・社会とを関連づけさせながら「楽しい」「美しい」「生きる」とは何かを思考し、追求する探求的な学習を行わせる。</p> <p>〈道徳〉 様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に、自己との関わりで広い視野から、多面的・多角的に捉え、人間としての生き方について考えていく。</p> <p>〈国語科〉 創造的・論理的思考・感性・情緒・他者とのコミュニケーションの側面から対象と言葉、言葉と言葉の関係性を問い直し意味づけ、言葉の学びを身につける。</p> <p>〈社会科〉 社会的な事象を様々な視点に着目して知識を習得し、それらを比較、関連づけなどして考察し、概念等に関する知識を身につけていくとともに、様々な立場の場面で「しあわせ」になれるような社会の在り方までせまらせる。</p> <p>〈数学科〉 目標に応じて、数・式、図、表、グラフを活用し、論理的に考え、既習の知識・技能等と関連づけながら新しい考えを作り出すこと、解へいたる方法を多面的にとらえさせる。</p> <p>〈理科〉 自然の事物・現象を、質的・量的な関係、時間的・空間的な関係など科学的な視点で捉え、科学的に探求し、自分自身にフィードバックすることができる。</p> <p>〈音楽科〉 音楽に対する完成を働かせ、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化等と関連づける。</p> <p>〈美術科〉 感性や想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだしていく。</p> <p>〈保健体育科〉 生涯にわたるスポーツライフを実現する資質・能力の育成や健康の保持増進のための実践力及び体力の向上について考察していく。</p> <p>〈技術・家庭科〉 生活や社会における事象との関わりを視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目していく。 生活事象を協力、協働、健康、安全や生活文化の継承・創造等の視点で捉え、よりよい生活を営むよう工夫していく。</p> <p>〈外国語〉 外国語に関する知識と共に背景となる外国の文化をも理解し、自分の考えを整理・再構成しながら行うコミュニケーション能力を育成する。</p>

<p>経営課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボトムアップ・ミドルアップダウンの推進 ○カリキュラムマネジメントの充実 ○新しい学びに向けた職員の資質・向上
<p>経営の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「改善」を中心にボトムアップ・ミドルアップダウンを促進する。 ○「授業改善」を重視し、「教科横断的学習」を取り入れた教育課程の管理・運営を行う。 ○哲学的思考、教科横断的学習推進のための校内研修の充実と校外研修への参加体制を整備する。
<p>校務運営の重点</p>
<p>教務運営の重点</p>
<p>各部の重点目標</p> <p>〈教務部〉 ○学習指導要領の完全実施 ○授業時数の確保 ○校務分掌の機能化と協働意識の徹底</p> <p>〈学習指導部〉 ○学力向上プランによる指導の充実 ○教科部会の充実 ○言語環境の整備と言語活動の充実 ○キャリア教育による「生き方」指導</p> <p>〈研究部〉 ○授業力(指導力)の向上、教員の資質向上を目指した研修の充実 ○主体的・対話的で深い学びによる知識の習得から活用する授業づくり ○「特別の教科 道徳」に向けた豊かな心の育成</p> <p>〈生徒支援部〉 ○福岡県人権教育推進プランの趣旨に基づく授業づくり ○不登校に向けた特別教室の設置と学習プランの作成 ○個別の指導計画による支援体制の充実(特別支援教室)</p> <p>〈生徒指導部〉 ○生徒理解から積極的な生徒指導の充実 ○危機管理対応能力の向上(いじめ防止、安全指導、情報モラル) ○自主的な生徒会活動の充実 ○不登校生徒への支援の充実 ○部活動の充実、礼儀作法の徹底</p> <p>〈保健部〉 ○心身の健康の保持増進の意識向上 ○食育の推進(重要性、感謝の心、社会性、文化等)</p> <p>〈学校事務〉 ○学校財務の適正な運営 ○適正・迅速な文書整理と管理 ○学校事務共同実施と教育活動を支援する諸条件の整備</p>
<p>各係の重点目標</p>
<p>学年経営の重点</p>

